

<臨床経験年数別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由 度	F 値	有意 確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間 グループ内	6 778	6.428	0.000
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間 グループ内	6 748	2.546	0.019
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間 グループ内	6 778	2.489	0.022
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	グループ間 グループ内	6 774	1.609	0.142
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	グループ間 グループ内	6 778	2.501	0.021
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間 グループ内	6 765	1.414	0.206
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	グループ間 グループ内	6 775	1.271	0.268
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	グループ間 グループ内	6 769	2.907	0.008
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	グループ間 グループ内	6 779	0.946	0.461
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間 グループ内	6 776	2.042	0.058
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間 グループ内	6 777	0.421	0.865
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間 グループ内	6 774	2.141	0.047
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間 グループ内	6 777	1.419	0.204
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間 グループ内	6 775	0.413	0.871
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	グループ間 グループ内	6 775	0.340	0.916
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	グループ間 グループ内	6 759	1.348	0.233
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間 グループ内	6 777	1.026	0.407
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間 グループ内	6 770	1.124	0.346
a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間 グループ内	6 777	0.463	0.836
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間 グループ内	6 770	1.602	0.144

<臨床経験年数別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	グループ間 グループ内	6 776	3.648	0.001
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	グループ間 グループ内	6 776	2.020	0.061
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	グループ間 グループ内	6 778	1.355	0.230
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	グループ間 グループ内	6 776	0.757	0.604
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	グループ間 グループ内	6 768	2.838	0.010
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	グループ間 グループ内	6 775	2.621	0.016
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	6 775	0.429	0.860
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	グループ間 グループ内	6 771	0.451	0.844
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	6 773	1.928	0.074
b20 小児治験に対して興味や関心がない	グループ間 グループ内	6 774	0.781	0.585
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	6 767	1.680	0.123
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	グループ間 グループ内	6 771	14.819	0.000
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	6 772	9.953	0.000
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	グループ間 グループ内	6 774	6.710	0.000
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	6 767	0.523	0.791
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	グループ間 グループ内	6 771	15.897	0.000
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	6 766	8.803	0.000
b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる	グループ間 グループ内	6 771	2.604	0.017
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	グループ間 グループ内	6 771	1.346	0.234
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	グループ間 グループ内	6 763	2.421	0.025

<臨床経験年数別> B:小児治験の課題に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	グループ間 グループ内	6 772	1.892	0.080
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	6 777	1.498	0.176
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	グループ間 グループ内	6 775	0.630	0.706
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	6 776	1.432	0.199
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	グループ間 グループ内	6 773	1.072	0.378
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	グループ間 グループ内	6 777	0.820	0.554
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	グループ間 グループ内	6 776	1.698	0.119
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	6 773	4.254	0.000
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	6 775	1.419	0.204
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	6 762	1.780	0.100
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	グループ間 グループ内	6 770	1.401	0.211
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	6 774	1.458	0.190
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	6 775	0.897	0.496
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	グループ間 グループ内	6 772	1.569	0.153
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	グループ間 グループ内	6 771	0.876	0.512
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	グループ間 グループ内	6 772	1.474	0.184
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	6 775	1.895	0.079
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	グループ間 グループ内	6 775	0.294	0.940
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	6 772	1.133	0.341
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	6 764	1.033	0.403

<臨床経験年数別> C:小児治験の参加に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	グループ間	6	14.588	0.000
	グループ内	774		
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	グループ間	6	37.250	0.000
	グループ内	771		
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	グループ間	6	3.098	0.005
	グループ内	774		
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	グループ間	6	2.034	0.059
	グループ内	766		

<臨床経験年数別> 小児治験の実施に対する意識得点の差（多重比較）

5年未満 * その他

項目		(I) B 臨床経験 年数	(J) B 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
阻害	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	5年未満	5年以上 10年未満	.396*	.001
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	10年以上 15年未満	.368*	.018
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.477*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.386*	.001
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	15年以上 20年未満	.569*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.516*	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.324*	.049
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.495*	.000
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である			.291*	.041
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	20年以上 25年未満	.663*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.663*	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.420*	.003
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.433*	.002
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.516*	.000
	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい			.352*	.034
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である			.298*	.042
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	25年以上 30年未満	.647*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.610*	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.392*	.013
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.527*	.000
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である			.362*	.008
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	30年以上	.736*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.744*	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.408*	.018
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.480*	.003
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.596*	.000
	b36 子どもを対象として治験を行うことがためられる			.387*	.017

5年以上10年未満 * その他

項目		(I) A1 臨床経験 年数	(J) A1 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
障害	b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年以上 10年未満	15年以上 20年未満	.318 [*]	.003
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.367 [*]	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.432 [*]	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.225 [*]	.009
障害	b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年以上 10年未満	20年以上 25年未満	.284 [*]	.027
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.462 [*]	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.266 [*]	.003
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.334 [*]	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.541 [*]	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.247 [*]	.005
障害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年以上 10年未満	25年以上 30年未満	.446 [*]	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.306 [*]	.003
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.374 [*]	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.257 [*]	.013
障害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年以上 10年未満	30年以上	.535 [*]	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.347 [*]	.002
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.322 [*]	.010
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.587 [*]	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.326 [*]	.003

10年以上15年未満 * その他

項目		(I) B 臨床経験 年数	(J) B 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	10年以上 15年未満	5年未満	.356*	.005
	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない			.282*	.049
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.282*	.039
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.454*	.021
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.580*	.000
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	10年以上 15年未満	5年以上 10年未満	.279*	.003
阻害	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	.281*	.003
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	10年以上 15年未満	20年以上 25年未満	.295*	.005
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.228*	.049
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.390*	.000
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	10年以上 15年未満	25年以上 30年未満	.280*	.035
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である			.255*	.013
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	10年以上 15年未満	30年以上	.368*	.005
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.436*	.000

15年以上20年未満 * その他

項目		(I) B 臨床経験 年数	(J) B 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	15年以上 20年未満	5年未満	.440*	.000
	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない			.307*	.026
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.678*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.873*	.000
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である			15年以上 20年未満	5年以上 10年未満
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	.387*	.000		
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	.571*	.000		
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	15年以上 20年未満	10年以上 15年未満	.292*	.005

20年以上25年未満 * その他

項目		(I) B 臨床経験 年数	(J) B 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率		
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	20年以上 25年未満	5年未満	.367*	.006		
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.308*	.024		
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.811*	.000		
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.999*	.000		
阻害	b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい			20年以上 25年未満	5年以上 10年未満	.241*	.022
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる					.520*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	.698*	.000				
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	.279*	.028				
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	20年以上 25年未満	10年以上 15年未満	.357*	.007		
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.419*	.000		

25年以上30年未満 * その他

項目		(I) B 臨床経験 年数	(J) B 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	25年以上 30年未満	5年未満	.430*	.001
	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない			.328*	.030
	a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある			.358*	.007
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.877*	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			1.165*	.000
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			25年以上 30年未満	5年以上 10年未満
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	.864*	.000		
	63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	.343*	.008		
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	25年以上 30年未満	10年以上 15年未満	.423*	.002
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.585*	.000
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	25年以上 30年未満	15年以上 20年未満	.292*	.036

30年以上 * その他

項目		(I) B 臨床経験 年数	(J) B 臨床経験 年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	30年以上	5年未満	.555 [*]	.000
	a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない			.370 [*]	.018
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.938 [*]	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			1.183 [*]	.000
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	30年以上	5年以上 10年未満	.323 [*]	.003
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.647 [*]	.000
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.882 [*]	.000
促進	a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	30年以上	10年以上 15年未満	.253 [*]	.048
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.484 [*]	.002
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.603 [*]	.000

資料 7

a 促進要因

		属性	度数	平均値	偏標準差	最小値	最大値	最頻値	属性	度数	平均値	偏標準差	最小値	最大値	最頻値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	5年未満	40	3.13	.563	2	4		a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	5年未満	40	3.05	.504	2	4	
	5年以上10年未満	185	3.30	.555	2	4		5年以上10年未満	185	3.07	.571	2	4		
	10年以上15年未満	157	3.45	.593	2	4		10年以上15年未満	157	3.11	.626	1	4		
	15年以上20年未満	143	3.53	.528	2	4		15年以上20年未満	143	3.08	.575	2	4		
	20年以上25年未満	114	3.44	.610	1	4		20年以上25年未満	113	3.04	.611	1	4		
	25年以上30年未満	86	3.52	.568	2	4		25年以上30年未満	87	3.16	.588	2	4		
	30年以上	61	3.66	.513	2	4		30年以上	60	3.05	.534	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	5年未満	39	3.21	.522	2	4		a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	5年未満	40	3.13	.463	2	4	
	5年以上10年未満	180	3.46	.521	2	4		5年以上10年未満	184	3.08	.506	1	4		
	10年以上15年未満	153	3.48	.527	2	4		10年以上15年未満	157	2.99	.543	1	4		
	15年以上20年未満	140	3.51	.581	1	4		15年以上20年未満	141	2.93	.457	2	4		
	20年以上25年未満	106	3.43	.552	1	4		20年以上25年未満	112	2.94	.574	1	4		
	25年以上30年未満	82	3.51	.527	2	4		25年以上30年未満	87	2.93	.452	2	4		
	30年以上	56	3.59	.532	2	4		30年以上	61	2.97	.446	2	4		
	無回答	1	2.00		2	2		無回答	1	3.00		3	3		
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	5年未満	39	3.23	.536	2	4		a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	5年未満	40	3.08	.656	1	4	
	5年以上10年未満	185	3.48	.522	2	4		5年以上10年未満	184	3.11	.669	2	4		
	10年以上15年未満	157	3.48	.526	2	4		10年以上15年未満	157	3.21	.566	2	4		
	15年以上20年未満	143	3.50	.568	1	4		15年以上20年未満	143	3.17	.535	2	4		
	20年以上25年未満	114	3.52	.536	2	4		20年以上25年未満	114	3.17	.664	2	4		
	25年以上30年未満	87	3.59	.495	3	4		25年以上30年未満	87	3.21	.649	2	4		
	30年以上	61	3.52	.504	3	4		30年以上	60	3.35	.577	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	5年未満	39	3.18	.451	2	4		a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	5年未満	39	3.13	.570	2	4	
	5年以上10年未満	184	3.43	.519	2	4		5年以上10年未満	185	3.21	.555	2	4		
	10年以上15年未満	157	3.32	.534	1	4		10年以上15年未満	156	3.23	.631	2	4		
	15年以上20年未満	142	3.41	.521	2	4		15年以上20年未満	142	3.15	.537	2	4		
	20年以上25年未満	114	3.42	.496	3	4		20年以上25年未満	114	3.19	.563	2	4		
	25年以上30年未満	86	3.40	.515	2	4		25年以上30年未満	87	3.23	.585	2	4		
	30年以上	60	3.45	.502	3	4		30年以上	60	3.12	.555	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		
a09 オフラベル（適外使用）問題を解決することが望ましい	5年未満	40	3.33	.526	2	4		a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	5年未満	39	3.36	.486	3	4	
	5年以上10年未満	185	3.36	.515	2	4		5年以上10年未満	185	3.29	.488	2	4		
	10年以上15年未満	157	3.52	.514	2	4		10年以上15年未満	157	3.32	.555	2	4		
	15年以上20年未満	142	3.51	.529	2	4		15年以上20年未満	140	3.33	.501	2	4		
	20年以上25年未満	114	3.48	.519	2	4		20年以上25年未満	114	3.31	.551	2	4		
	25年以上30年未満	87	3.53	.525	2	4		25年以上30年未満	87	3.28	.521	2	4		
	30年以上	61	3.49	.536	2	4		30年以上	61	3.38	.522	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	5年未満	39	2.64	.668	1	4		a31 新薬を使用することは患者へ	5年未満	37	2.92	.493	2	4	
	5年以上10年未満	183	2.69	.731	1	4		5年以上10年未満	181	2.99	.516	2	4		
	10年以上15年未満	155	2.74	.721	1	4		10年以上15年未満	155	2.96	.580	2	4		
	15年以上20年未満	142	2.54	.691	1	4		15年以上20年未満	139	2.96	.550	2	4		
	20年以上25年未満	111	2.64	.760	1	4		20年以上25年未満	111	3.04	.485	2	4		
	25年以上30年未満	86	2.62	.706	1	4		25年以上30年未満	85	3.01	.567	2	4		
	30年以上	57	2.70	.654	1	4		30年以上	59	3.12	.458	2	4		
	無回答	1	2.00		2	2		無回答	1	2.00		2	2		
a13 未承認薬でも必要とする患者がいるため使用せざるを得ない	5年未満	39	3.31	.569	2	4		a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	5年未満	40	3.35	.580	2	4	
	5年以上10年未満	184	3.49	.523	2	4		5年以上10年未満	185	3.26	.466	2	4		
	10年以上15年未満	157	3.52	.526	2	4		10年以上15年未満	157	3.33	.511	2	4		
	15年以上20年未満	143	3.48	.542	2	4		15年以上20年未満	142	3.32	.470	3	4		
	20年以上25年未満	114	3.51	.519	2	4		20年以上25年未満	113	3.26	.496	2	4		
	25年以上30年未満	86	3.58	.519	2	4		25年以上30年未満	87	3.36	.549	2	4		
	30年以上	60	3.43	.533	2	4		30年以上	61	3.43	.531	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	5年未満	39	2.90	.502	2	4		a35 有効な治療薬の開発に寄りたい	5年未満	39	3.03	.428	2	4	
	5年以上10年未満	184	3.02	.501	1	4		5年以上10年未満	182	3.01	.541	1	4		
	10年以上15年未満	155	2.97	.639	1	4		10年以上15年未満	157	3.05	.575	1	4		
	15年以上20年未満	143	3.02	.510	1	4		15年以上20年未満	143	3.06	.559	2	4		
	20年以上25年未満	112	3.06	.558	1	4		20年以上25年未満	111	3.13	.507	2	4		
	25年以上30年未満	84	3.15	.452	2	4		25年以上30年未満	87	3.09	.448	2	4		
	30年以上	60	3.20	.514	2	4		30年以上	59	3.17	.422	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		
a17 小児用医薬品の安全性の確保が必要である	5年未満	40	3.28	.452	3	4		a37 小児医療の質を向上させなければならない	5年未満	39	3.46	.555	2	4	
	5年以上10年未満	185	3.37	.485	3	4		5年以上10年未満	185	3.43	.497	3	4		
	10年以上15年未満	157	3.45	.499	3	4		10年以上15年未満	157	3.43	.545	1	4		
	15年以上20年未満	143	3.40	.505	2	4		15年以上20年未満	142	3.49	.502	3	4		
	20年以上25年未満	114	3.35	.497	2	4		20年以上25年未満	114	3.47	.519	2	4		
	25年以上30年未満	87	3.49	.503	3	4		25年以上30年未満	87	3.48	.503	3	4		
	30年以上	61	3.41	.528	2	4		30年以上	61	3.48	.504	3	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	4.00		4	4		
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	5年未満	40	3.23	.480	2	4		a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	5年未満	38	2.92	.587	2	4	
	5年以上10年未満	185	3.20	.487	2	4		5年以上10年未満	183	2.88	.571	1	4		
	10年以上15年未満	157	3.15	.564	1	4		10年以上15年未満	155	2.94	.637	1	4		
	15年以上20年未満	143	3.02	.510	2	4		15年以上20年未満	143	2.97	.604	2	4		
	20年以上25年未満	113	3.05	.595	1	4		20年以上25年未満	113	3.04	.588	2	4		
	25年以上30年未満	86	3.08	.440	2	4		25年以上30年未満	86	3.01	.520	2	4		
	30年以上	60	3.07	.548	2	4		30年以上	60	3.08	.462	2	4		
	無回答	1	3.00		3	3		無回答	1	3.00		3	3		

b 阻害要因

属性		度数	平均値	偏標差	最小値	最大値	最頻値	属性		度数	平均値	偏標差	最小値	最大値	最頻値
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年未満	40	2.75	.707	1	4		b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	5年未満	39	2.56	.652	2	4	
	5年以上10年未満	184	3.02	.705	1	4			5年以上10年未満	182	2.35	.645	1	4	
	10年以上15年未満	157	2.87	.760	1	4			10年以上15年未満	156	2.40	.734	1	4	
	15年以上20年未満	143	2.75	.755	1	4			15年以上20年未満	140	2.44	.751	1	4	
	20年以上25年未満	114	2.74	.705	1	4			20年以上25年未満	112	2.36	.769	1	4	
	25年以上30年未満	86	2.70	.798	1	4			25年以上30年未満	86	2.23	.546	1	4	
	30年以上	60	2.75	.773	1	4			30年以上	60	2.40	.558	2	4	
	無回答	1	2.00		2	2			無回答	1	2.00		2	2	
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	5年未満	40	2.95	.714	2	4		b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	40	2.83	.636	1	4	
	5年以上10年未満	184	3.18	.708	1	4			5年以上10年未満	182	2.64	.664	1	4	
	10年以上15年未満	157	3.26	.632	2	4			10年以上15年未満	156	2.47	.676	1	4	
	15年以上20年未満	142	3.25	.586	2	4			15年以上20年未満	143	2.25	.611	1	4	
	20年以上25年未満	114	3.20	.668	2	4			20年以上25年未満	113	2.13	.605	1	4	
	25年以上30年未満	87	3.16	.745	2	4			25年以上30年未満	85	2.19	.627	1	3	
	30年以上	60	3.18	.624	2	4			30年以上	60	2.10	.630	1	3	
	無回答	1	3.00		3	3			無回答	1	2.00		2	2	
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	5年未満	40	2.65	.662	2	4		b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	5年未満	39	2.79	.522	2	4	
	5年以上10年未満	185	2.79	.715	1	4			5年以上10年未満	185	2.42	.595	1	4	
	10年以上15年未満	157	2.77	.750	1	4			10年以上15年未満	156	2.33	.654	1	4	
	15年以上20年未満	143	2.83	.722	1	4			15年以上20年未満	141	2.27	.596	1	4	
	20年以上25年未満	114	2.66	.739	1	4			20年以上25年未満	113	2.13	.543	1	4	
	25年以上30年未満	87	2.62	.719	1	4			25年以上30年未満	86	2.17	.536	1	3	
	30年以上	60	2.73	.578	2	4			30年以上	60	2.07	.548	1	3	
	無回答	1	3.00		3	3			無回答	1	2.00		2	2	
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	5年未満	38	3.05	.655	2	4		b28 有害事象時の対応が可能か不安である	5年未満	39	2.95	.560	2	4	
	5年以上10年未満	185	3.10	.660	1	4			5年以上10年未満	185	2.90	.604	1	4	
	10年以上15年未満	156	3.21	.653	1	4			10年以上15年未満	156	2.81	.577	1	4	
	15年以上20年未満	143	3.16	.646	1	4			15年以上20年未満	142	2.70	.593	1	4	
	20年以上25年未満	114	3.14	.690	2	4			20年以上25年未満	113	2.57	.653	1	4	
	25年以上30年未満	87	3.10	.699	2	4			25年以上30年未満	87	2.56	.642	1	4	
	30年以上	61	3.11	.661	2	4			30年以上	60	2.58	.591	2	4	
	無回答	1	4.00		4	4			無回答	1	3.00		3	3	
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	5年未満	39	2.28	.510	1	3		b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	5年未満	38	2.24	.431	2	3	
	5年以上10年未満	182	2.29	.591	1	4			5年以上10年未満	184	2.15	.552	1	4	
	10年以上15年未満	156	2.38	.646	1	4			10年以上15年未満	156	2.18	.596	1	4	
	15年以上20年未満	142	2.51	.639	1	4			15年以上20年未満	140	2.11	.564	1	4	
	20年以上25年未満	113	2.50	.629	1	4			20年以上25年未満	112	2.07	.581	1	4	
	25年以上30年未満	86	2.44	.566	1	4			25年以上30年未満	86	2.07	.504	1	4	
	30年以上	58	2.50	.628	1	4			30年以上	59	2.12	.528	1	4	
	無回答	1	3.00		3	3			無回答	1	3.00		3	3	
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	5年未満	39	3.13	.570	2	4		b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	5年未満	39	2.74	.549	2	4	
	5年以上10年未満	184	3.30	.568	2	4			5年以上10年未満	184	2.89	.532	2	4	
	10年以上15年未満	156	3.36	.579	2	4			10年以上15年未満	157	2.76	.601	2	4	
	15年以上20年未満	142	3.35	.546	1	4			15年以上20年未満	141	2.44	.669	1	4	
	20年以上25年未満	114	3.23	.692	1	4			20年以上25年未満	112	2.32	.661	1	4	
	25年以上30年未満	87	3.13	.625	1	4			25年以上30年未満	86	2.51	.609	1	4	
	30年以上	61	3.13	.465	2	4			30年以上	60	2.32	.651	1	4	
	無回答	1	4.00		4	4			無回答	1	2.00		2	2	
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	5年未満	38	3.00	.735	1	4		b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	5年未満	39	2.62	.544	2	4	
	5年以上10年未満	185	2.89	.667	1	4			5年以上10年未満	181	2.36	.622	1	4	
	10年以上15年未満	156	2.96	.661	2	4			10年以上15年未満	156	2.24	.572	1	4	
	15年以上20年未満	143	2.88	.687	1	4			15年以上20年未満	140	2.11	.538	1	3	
	20年以上25年未満	113	2.90	.694	1	4			20年以上25年未満	113	2.09	.527	1	4	
	25年以上30年未満	87	2.89	.672	2	4			25年以上30年未満	86	2.08	.490	1	3	
	30年以上	61	2.84	.663	2	4			30年以上	59	2.03	.524	1	3	
	無回答	1	3.00		3	3			無回答	1	2.00		2	2	
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	5年未満	37	2.92	.640	2	4		b36 子どもを対象として治験を行うことがめらわれる	5年未満	39	2.36	.486	2	3	
	5年以上10年未満	184	2.83	.600	1	4			5年以上10年未満	182	2.11	.603	1	4	
	10年以上15年未満	155	2.85	.685	1	4			10年以上15年未満	156	2.13	.679	1	4	
	15年以上20年未満	143	2.76	.628	1	4			15年以上20年未満	142	2.01	.552	1	4	
	20年以上25年未満	113	2.79	.661	1	4			20年以上25年未満	113	2.09	.544	1	3	
	25年以上30年未満	87	2.77	.677	2	4			25年以上30年未満	87	2.00	.431	1	3	
	30年以上	60	2.78	.666	2	4			30年以上	60	1.95	.467	1	3	
	無回答	1	4.00		4	4			無回答	1	2.00		2	2	
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	5年未満	39	2.85	.630	2	4		b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	5年未満	39	2.64	.668	1	4	
	5年以上10年未満	183	2.90	.707	1	4			5年以上10年未満	184	2.51	.709	1	4	
	10年以上15年未満	156	2.94	.702	1	4			10年以上15年未満	155	2.61	.716	1	4	
	15年以上20年未満	143	2.74	.709	1	4			15年以上20年未満	142	2.44	.624	1	4	
	20年以上25年未満	113	2.68	.685	1	4			20年以上25年未満	114	2.42	.664	1	4	
	25年以上30年未満	87	2.74	.706	2	4			25年以上30年未満	85	2.45	.646	1	4	
	30年以上	60	2.72	.715	1	4			30年以上	60	2.52	.596	1	4	
	無回答	1	3.00		3	3			無回答	1	3.00		3	3	
b20 小児治験に対して興味や関心がない	5年未満	39	1.92	.623	1	3		b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	5年未満	38	2.79	.528	2	4	
	5年以上10年未満	184	1.84	.528	1	3			5年以上10年未満	182	2.52	.610	2	4	
	10年以上15年未満	157	1.80	.607	1	4			10年以上15年未満	155	2.64	.654	1	4	
	15年以上20年未満	143	1.79	.603	1	3			15年以上20年未満	139	2.58	.614	1	4	
	20年以上25年未満	113	1.77	.598	1	4			20年以上25年未満	113	2.41	.650	1	4	
	25年以上30年未満	86	1.74	.578	1	3			25年以上30年未満	85	2.44	.586	1	4	
	30年以上	60	1.77	.533	1	3			30年以上	59	2.46	.567	1	3	
	無回答	1	2.00		2	2			無回答	1	3.00		3	3	

c 課題要因

		属性					属性						
	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
c41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	5年未満	39	2.85	.630	1	4	c51 行政的な小児治療支援システムが構築される必要がある	5年未満	39	3.23	.427	3	4
	5年以上10年未満	182	3.05	.523	1	4		5年以上10年未満	182	3.26	.501	1	4
	10年以上15年未満	157	3.10	.491	2	4		10年以上15年未満	157	3.30	.560	2	4
	15年以上20年未満	143	2.98	.365	2	4		15年以上20年未満	141	3.40	.534	2	4
	20年以上25年未満	113	3.00	.500	2	4		20年以上25年未満	113	3.39	.542	2	4
	25年以上30年未満	87	2.94	.414	2	4		25年以上30年未満	87	3.38	.511	2	4
	30年以上	59	2.97	.370	2	4		30年以上	59	3.37	.584	2	4
無回答	1	2.00		2	2	無回答	1	3.00		3	3		
c42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	5年未満	39	3.46	.555	2	4	c52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	5年未満	39	3.46	.505	3	4
	5年以上10年未満	184	3.36	.503	2	4		5年以上10年未満	183	3.40	.534	1	4
	10年以上15年未満	157	3.46	.513	2	4		10年以上15年未満	157	3.49	.550	1	4
	15年以上20年未満	143	3.38	.488	3	4		15年以上20年未満	143	3.44	.498	3	4
	20年以上25年未満	114	3.31	.534	1	4		20年以上25年未満	114	3.37	.502	2	4
	25年以上30年未満	88	3.36	.484	3	4		25年以上30年未満	86	3.35	.479	3	4
	30年以上	60	3.27	.446	3	4		30年以上	60	3.40	.527	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		
c43 専門性の高い小児治療チームがある	5年未満	39	3.44	.598	2	4	c53 有害事象発生時の支援体制があると良い	5年未満	38	3.55	.504	3	4
	5年以上10年未満	184	3.34	.520	2	4		5年以上10年未満	184	3.44	.509	2	4
	10年以上15年未満	157	3.40	.587	1	4		10年以上15年未満	157	3.52	.538	2	4
	15年以上20年未満	142	3.38	.529	2	4		15年以上20年未満	143	3.47	.501	3	4
	20年以上25年未満	114	3.37	.520	2	4		20年以上25年未満	114	3.41	.529	2	4
	25年以上30年未満	87	3.32	.539	1	4		25年以上30年未満	88	3.50	.503	3	4
	30年以上	60	3.28	.490	2	4		30年以上	59	3.41	.529	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		
c44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	5年未満	39	3.44	.502	3	4	c54 小児治療コーディネーターが病院内に常駐できると良い	5年未満	38	3.08	.749	1	4
	5年以上10年未満	184	3.38	.507	2	4		5年以上10年未満	183	3.22	.692	1	4
	10年以上15年未満	157	3.46	.549	1	4		10年以上15年未満	157	3.36	.641	1	4
	15年以上20年未満	143	3.40	.519	2	4		15年以上20年未満	142	3.32	.634	1	4
	20年以上25年未満	114	3.34	.529	2	4		20年以上25年未満	113	3.35	.609	2	4
	25年以上30年未満	87	3.32	.470	3	4		25年以上30年未満	87	3.31	.634	1	4
	30年以上	60	3.30	.497	2	4		30年以上	60	3.33	.572	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		
c45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	5年未満	39	3.26	.498	2	4	c55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	5年未満	39	3.23	.627	2	4
	5年以上10年未満	184	3.05	.598	1	4		5年以上10年未満	184	3.20	.568	2	4
	10年以上15年未満	156	3.11	.596	1	4		10年以上15年未満	156	3.26	.610	1	4
	15年以上20年未満	143	3.08	.545	1	4		15年以上20年未満	143	3.17	.581	2	4
	20年以上25年未満	113	3.04	.581	2	4		20年以上25年未満	112	3.15	.588	1	4
	25年以上30年未満	87	3.01	.470	2	4		25年以上30年未満	85	3.14	.538	1	4
	30年以上	59	3.07	.612	2	4		30年以上	60	3.22	.555	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		
c46 「実験台にされる」という小児治療に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	5年未満	39	3.33	.662	1	4	c56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	5年未満	39	3.28	.560	2	4
	5年以上10年未満	184	3.28	.557	1	4		5年以上10年未満	183	3.36	.546	2	4
	10年以上15年未満	157	3.32	.589	1	4		10年以上15年未満	155	3.34	.595	2	4
	15年以上20年未満	143	3.19	.569	2	4		15年以上20年未満	143	3.26	.590	2	4
	20年以上25年未満	114	3.25	.508	2	4		20年以上25年未満	113	3.23	.567	2	4
	25年以上30年未満	88	3.24	.479	2	4		25年以上30年未満	87	3.21	.593	2	4
	30年以上	60	3.28	.490	2	4		30年以上	60	3.22	.585	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		
c47 小児治療への認識を高めるために情報公開をする必要がある	5年未満	39	3.33	.478	3	4	c57 小児治療の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	5年未満	39	3.28	.456	3	4
	5年以上10年未満	184	3.28	.484	2	4		5年以上10年未満	183	3.31	.496	2	4
	10年以上15年未満	157	3.39	.552	1	4		10年以上15年未満	157	3.41	.567	2	4
	15年以上20年未満	143	3.23	.540	2	4		15年以上20年未満	143	3.36	.511	2	4
	20年以上25年未満	114	3.25	.508	2	4		20年以上25年未満	113	3.38	.523	2	4
	25年以上30年未満	88	3.35	.480	3	4		25年以上30年未満	88	3.47	.502	3	4
	30年以上	59	3.36	.550	2	4		30年以上	60	3.50	.504	3	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		
c48 小児治療への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	5年未満	39	3.38	.493	3	4	c58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	5年未満	39	3.13	.615	2	4
	5年以上10年未満	184	3.16	.507	1	4		5年以上10年未満	184	3.22	.560	2	4
	10年以上15年未満	156	3.28	.577	1	4		10年以上15年未満	157	3.22	.656	1	4
	15年以上20年未満	142	3.13	.503	2	4		15年以上20年未満	142	3.16	.554	2	4
	20年以上25年未満	113	3.09	.591	1	4		20年以上25年未満	113	3.22	.578	2	4
	25年以上30年未満	88	3.03	.535	1	4		25年以上30年未満	88	3.15	.537	2	4
	30年以上	59	3.08	.566	2	4		30年以上	60	3.17	.557	2	4
無回答	1	2.00		2	2	無回答	1	3.00		3	3		
c49 の現状について社会全体に啓発していく必要がある	5年未満	39	3.28	.456	3	4	c59 小児治療への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	5年未満	39	3.15	.366	3	4
	5年以上10年未満	184	3.35	.532	2	4		5年以上10年未満	184	3.18	.528	1	4
	10年以上15年未満	157	3.45	.536	2	4		10年以上15年未満	156	3.17	.592	1	4
	15年以上20年未満	142	3.42	.509	2	4		15年以上20年未満	142	3.08	.512	2	4
	20年以上25年未満	114	3.39	.526	2	4		20年以上25年未満	113	3.10	.550	1	4
	25年以上30年未満	87	3.44	.499	3	4		25年以上30年未満	87	3.03	.618	1	4
	30年以上	60	3.55	.502	3	4		30年以上	59	3.10	.515	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	2.00		2	2		
c50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	5年未満	39	3.15	.366	3	4	c60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	5年未満	38	3.21	.413	3	4
	5年以上10年未満	179	3.02	.519	2	4		5年以上10年未満	180	3.12	.476	2	4
	10年以上15年未満	155	3.08	.581	1	4		10年以上15年未満	155	3.22	.538	2	4
	15年以上20年未満	139	3.05	.594	1	4		15年以上20年未満	141	3.23	.498	2	4
	20年以上25年未満	113	3.14	.565	2	4		20年以上25年未満	112	3.25	.577	1	4
	25年以上30年未満	86	3.19	.564	2	4		25年以上30年未満	86	3.24	.507	2	4
	30年以上	59	3.19	.473	2	4		30年以上	60	3.27	.482	2	4
無回答	1	3.00		3	3	無回答	1	3.00		3	3		

d 参加要因

属性		人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	出現頻度
d61 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	5年未満	38	1.61	547	1	3	
	5年以上10年未満	184	1.88	744	1	4	
	10年以上15年未満	156	2.04	786	1	4	
	15年以上20年未満	142	2.26	796	1	4	
	20年以上25年未満	113	2.46	856	1	4	
	25年以上30年未満	88	2.45	801	1	4	
	30年以上	61	2.52	906	1	4	
	無回答	1	2.00		2	2	
d62 自分には小児治療に取り組むための知識・技能がある	5年未満	38	1.55	504	1	2	
	5年以上10年未満	184	1.83	635	1	4	
	10年以上15年未満	155	2.14	703	1	4	
	15年以上20年未満	141	2.40	706	1	4	
	20年以上25年未満	113	2.57	639	1	4	
	25年以上30年未満	88	2.73	690	1	4	
	30年以上	60	2.73	660	1	4	
	無回答	1	2.00		2	2	
d63 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	5年未満	38	2.55	795	1	4	
	5年以上10年未満	184	2.48	782	1	4	
	10年以上15年未満	156	2.63	682	1	4	
	15年以上20年未満	142	2.68	728	1	4	
	20年以上25年未満	113	2.79	674	1	4	
	25年以上30年未満	88	2.83	665	1	4	
	30年以上	61	2.67	790	1	4	
	無回答	1	2.00		2	2	
d64 今後自分は小児治療に積極的に取り組んでいきたい	5年未満	38	2.68	702	1	4	
	5年以上10年未満	181	2.70	634	1	4	
	10年以上15年未満	156	2.72	596	1	4	
	15年以上20年未満	141	2.77	637	1	4	
	20年以上25年未満	110	2.83	604	1	4	
	25年以上30年未満	88	2.91	637	1	4	
	30年以上	60	2.92	561	2	4	
	無回答	1	2.00		2	2	

< 卒後年数別 > 小児治験の実施に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間 グループ内	6 779	6.444	0.000
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間 グループ内	6 749	2.366	0.029
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間 グループ内	6 779	2.148	0.046
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	グループ間 グループ内	6 775	1.980	0.066
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	グループ間 グループ内	6 779	2.349	0.030
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間 グループ内	6 766	1.077	0.375
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	グループ間 グループ内	6 776	1.401	0.212
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	グループ間 グループ内	6 770	2.546	0.019
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	グループ間 グループ内	6 780	1.446	0.194
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間 グループ内	6 777	2.377	0.028
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間 グループ内	6 778	0.498	0.810
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間 グループ内	6 775	2.141	0.047
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間 グループ内	6 778	1.465	0.187
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間 グループ内	6 776	0.568	0.756
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	グループ間 グループ内	6 776	0.386	0.888
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	グループ間 グループ内	6 760	1.006	0.420
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間 グループ内	6 778	1.231	0.288
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間 グループ内	6 771	1.127	0.344
a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間 グループ内	6 778	0.305	0.935
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間 グループ内	6 771	1.591	0.147

< 卒後年数別 > Ab: 小児治験の実施に対する意識(阻害要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由 度	F 値	有意 確率
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	グループ間 グループ内	6 777	3.238	0.004
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	グループ間 グループ内	6 777	1.352	0.231
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	グループ間 グループ内	6 779	1.375	0.222
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	グループ間 グループ内	6 777	0.618	0.716
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	グループ間 グループ内	6 769	2.885	0.009
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	グループ間 グループ内	6 776	3.018	0.006
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	6 776	0.465	0.834
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	グループ間 グループ内	6 772	0.509	0.802
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	6 774	2.612	0.016
b20 小児治験に対して興味や関心がない	グループ間 グループ内	6 775	0.643	0.696
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	6 768	1.430	0.200
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	グループ間 グループ内	6 772	15.829	0.000
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	6 773	9.812	0.000
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	グループ間 グループ内	6 775	6.785	0.000
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	6 768	0.887	0.503
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	グループ間 グループ内	6 772	17.206	0.000
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	6 767	8.982	0.000
b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる	グループ間 グループ内	6 772	3.020	0.006
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	グループ間 グループ内	6 772	1.502	0.175
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	グループ間 グループ内	6 764	3.260	0.004

< 卒後年数別 > B: 小児治験の課題に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由 度	F 値	有意 確率
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	グループ間 グループ内	6 773	2.416	0.025
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	6 778	1.884	0.081
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	グループ間 グループ内	6 776	0.624	0.711
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	6 777	1.239	0.284
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	グループ間 グループ内	6 774	1.065	0.382
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	グループ間 グループ内	6 778	0.882	0.507
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	グループ間 グループ内	6 777	1.864	0.084
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	6 774	3.853	0.001
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	6 776	1.798	0.097
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	6 763	1.568	0.153
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	グループ間 グループ内	6 771	1.671	0.125
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	6 775	1.083	0.371
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	6 776	0.962	0.450
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	グループ間 グループ内	6 773	1.550	0.159
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	グループ間 グループ内	6 772	0.606	0.726
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	グループ間 グループ内	6 773	1.352	0.232
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	6 776	1.938	0.072
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	グループ間 グループ内	6 776	0.424	0.863
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	6 773	1.122	0.348
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	6 765	1.340	0.237

<卒後年数別> C:小児治験の参加に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由 度	F 値	有意 確率
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	グループ間 グループ内	6 775	14.847	0.000
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	グループ間 グループ内	6 772	38.037	0.000
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	グループ間 グループ内	6 775	3.469	0.002
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	グループ間 グループ内	6 767	2.128	0.048

< 卒後年数別 > 小児治験の実施に対する意識得点の差 (多重比較)

5年未満 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
阻害	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	5年未満	5年以上 10年未満	.373*	.006
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	10年以上 15年未満	.351*	.034
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.468*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.372*	.004
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	15年以上 20年未満	.573*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.525*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.501*	.000
	b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる			.352*	.012
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	20年以上 25年未満	.692*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.662*	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.382*	.012
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.422*	.004
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.527*	.000
	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい			.382*	.017
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	25年以上 30年未満	.637*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.620*	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.385*	.017
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.534*	.000
	b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる			.359*	.019
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である			.351*	.014
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	30年以上	.725*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.728*	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.427*	.012
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.581*	.000
	b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる			.409*	.009

5年以上10年未満 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる			.179*	.036
阻害	b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年以上 10年未満	15年以上 20年未満	.268*	.021
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.391*	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.452*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.245*	.002
阻害	b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年以上 10年未満	20年以上 25年未満	.279*	.027
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.510*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.289*	.001
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.331*	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.570*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.271*	.001
阻害	b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年以上 10年未満	25年以上 30年未満	.319*	.018
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.455*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.247*	.022
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.334*	.000
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.380*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.278*	.003
阻害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年以上 10年未満	30年以上	.543*	.000
	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない			.355*	.001
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.314*	.009
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.575*	.000
	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない			.325*	.002

10年以上15年未満 * その他

項目		(I) C 卒後年数	(J) C 卒後年数	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	10年以上 15年未満	5年未満	.321*	.024
課題	41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある			.249*	.050
参加	61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる			.433*	.041
	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある			.583*	.000
参加	62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	10年以上 15年未満	5年以上 10年未満	.304*	.001
障害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	.223*	.044
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.325*	.000
障害	b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	10年以上 15年未満	20年以上 25年未満	.261*	.042
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.342*	.000
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.248*	.017
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.443*	.000
	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい			.232*	.039
障害	b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	10年以上 15年未満	25年以上 30年未満	.233*	.048
	b24 小児治験に関する作業内容がわからない			.286*	.017
	b28 有害事象時の対応が可能か不安である			.251*	.033
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.253*	.034
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題への ケアが必要である			.248*	.011
障害	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	10年以上 15年未満	30年以上	.374*	.002
	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない			.448*	.000